

## ロブショットの動画をみられない人のために

距離のあるホールの第2打目。1打目は飛距離が出たもののラフ。しかも、グリーン手前はバンカー。転がしては、バンカーがあるために非常に難しい。

あるいは、奥もラフがきついたために、ボールをフワリと上げて転がらないボールを打ちたい！（ゴルフのロブショット気味のボール）この場合のショットです。

ホームページに技術編を掲載した中で一番質問の多かった事項です。パソコンで動画を見ることができる人は「ロブショット動画」をご覧ください。

・前提として、ボールが浮いているか、ボールの下にクラブフェイスを入れることができる状態の時に使用できません。

・距離感、方向性は右手で決めます。ボールを拾ってアンダースローで投げるイメージです。

ただし、指先、手首を使わないで打ちます。

・ボールとカップの距離、落としどころが近いと手打ちになりやすいので要注意です。

どんなに、近い距離でもすべてスイングということを忘れないで下さい。

### 成功させる5つのポイント



1. グリップ = 左手親指の位置はセンターではありません。左にずらして握ります。



2. フェイスは開いて構えます。  
ネック（クラブを構えた手前側）から  
トゥ先（クラブの上部）の角度が1時～2時くらいを  
指す感じになります。

目標方向に向くぐらいにオープンスタンスで構えます。

3. アドレスでの握る強さは、変えないこと。  
インパクト直前に強く握ったり、弱くしたりすると  
ヘッドの加速力が変化して失敗することが多くなります。





4. 手首の角度を変えないで打っていきます。(卓球のカットのイメージ)

5. あらかじめ、フィニッシュのクラブの位置を決めておき、体の回転と、腕の動きを同調させてください。

・一番誤解されることは、スイング軌道が「アウトサイド・イン」で振っているのではないかとと思われることです。しかし、「アウトサイド・イン」でのショットは、非常に難しく良いショットと悪いショットとのバラツキが多くなります。パークゴルフも「シンプルイズベスト」です。スイングプレーン(軌道)は、インサイドに引いたり、アウトサイドに上げたりしないでストレートにクラブを引き、ストレートにクラブを出していくことにより安定したショットを打つことができるでしょう。

次に、どれ位上げてどれ位転がすかということですが、

・パークゴルフのクラブはゴルフのショートアイアンと違いフェイスに溝がありませんのでバックspinはかかりません。

ゴルフクラブではランの無いボールを打つことができますが、パークゴルフのクラブでは上手に打っても50%位上げて50%位のランとなると思います。人によりキャリーとランの割合は違います。

練習の中で、自分のボールは 対 の割合なのかつかみましょう。